

平成 30 年度事業計画

1. 一般研究助成

1. 第38回一般研究助成対象者の発表論文をまとめて「がん治療のあゆみ」第38巻を刊行する。
2. 第39回一般研究助成の選考を行う。
3. 第39回一般研究助成贈呈式、第38回研究発表会を開催する(2018. 12. 14)。

2. 臨床研究助成

JFMC34-0601 : ホルモン陽性Stage II, IIIA, 閉経後乳癌に対するエキセメスタン24週間術前治療の有用性の検討 (臨床第II相試験)

1. 追跡調査を行う。
2. 記録用紙の回収を行い、データ処理を行う。
3. 最終解析を行う。
4. 学会発表を行う。
5. 終了報告書を作成する。
6. 英文論文を作成する。

JFMC37-0801 : Stage III (Dukes' C) 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのカペシタビンの至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験

1. 終了報告書を作成する。
2. 英文論文を作成する。

JFMC37-0801 (付随研究) : 結腸癌術後治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのカペシタビン投与期間延長によるHRQOLおよび医療経済性への影響の調査

1. 最終解析を行う。
2. 学会発表を行う。
3. 終了報告書を作成する。
4. 英文論文を作成する。

JFMC41-1001-C2 : Stage II / Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法の認容性に関する検討

1. 英文論文を作成する。

JFMC41-1001-C2 (付随研究) : Stage II / Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法の認容性に関する検討ーオキサリプラチンの安全性指標に関する策定研究ー

1. 遺伝子統合解析を行う。
2. 学会発表を行う。
3. 英文論文を作成する。

JFMC44-1101 : 治癒切除不能な進行・再発胃癌症例におけるHER2の検討 ー観察研究ー

1. 学会発表を行う。
2. 終了報告書を作成する。
3. 英文論文を作成する。

JFMC46-1201:再発危険因子を有するStage II 大腸癌に対するUFT/LV療法の臨床的有用性に関する研究

1. EDCによるデータ回収を行い、データ処理を行う。
2. 第6回 定期モニタリングレポートを作成する。
3. 検討会を開催する。
4. 臨床研究法施行に伴い中央IRBへ再審査を依頼する。

JFMC47-1202-C3: Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験

1. EDCによるデータ回収を行い、データ処理を行う。
2. IDEA試験全体のイベント数調査に向けたデータ処理を行う。
3. 第6回 定期モニタリングレポートを作成する。
4. 学会発表を行う。
5. 英文論文を作成する。
6. 検討会を開催する。
7. 臨床研究法施行に伴い中央IRBへ再審査を依頼する。

JFMC47-1202-C3 (付随研究): Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験 付随研究

1. EDCによるデータ回収を行い、データ処理を行う。
2. 学会発表を行う。
3. 英文論文を作成する。
4. 検討会を開催する。
5. 臨床研究法施行に伴い中央IRBへ再審査を依頼する。

JFMC48-1301-C4: 再発危険因子を有するハイリスクStage II 結腸がん治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法の至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験

1. EDCによるデータ回収を行い、データ処理を行う。
2. 第4回 定期モニタリングレポートを作成する。
3. IDEA試験全体のイベント数調査に向けたデータ処理を行う。
4. IDEA試験全体の解析実施に向けてデータセットを作成する。
5. 検討会を開催する。
6. 臨床研究法施行に伴い中央IRBへ再審査を依頼する。

JFMC49-1601-C5: 食道癌患者へのDCF療法時における成分栄養剤の口腔粘膜炎抑制作用の検討ーエレンタール®非投与群を対照群としたランダム化第III相比較臨床試験 (EPOC2 study)

1. 症例集積を行う。
2. 記録用紙の回収を行い、データ処理を行う。
3. 第2回定期モニタリングレポートを作成する。
4. 施設訪問監査を行う。
5. 検討会を開催する。
6. 臨床研究法施行に伴い中央IRBへ再審査を依頼する。

JFMC50-1701-C6: ロンサーフ (TFTD) 使用症例の後ろ向き観察 (コホート) 研究

1. 最終解析を行う。
2. 検討会を開催する。
3. 学会発表を行う。
4. 英文論文を作成する。

JFMC51-1702-C7: 標準化学療法に不応・不耐の切除不能進行・再発大腸癌に対するTFD（ロンサーフ）+Bevacizumab併用療法のRAS遺伝子変異有無別の有効性と安全性を確認する第II相試験

1. 症例集積を行う。
2. 記録用紙の回収を行い、データ処理を行う。
3. 第1回定期モニタリングレポートを作成する。
4. 施設訪問監査を行う。
5. 検討会を開催する。
6. 臨床研究法施行に伴い中央IRBへ再審査を依頼する。

DKT統合解析: 大建中湯の効果と投与条件の探索的研究-3つの臨床試験の統合解析-

1. 学会発表を行う。
2. 英文論文を作成する。

3. 臨床効果データベース事業

1. ACCENT (Mayo Clinic) へJFMC7/15/33/37のデータを提供する。
2. 大腸癌術後補助化学療法に関する臨床試験のデータを統合したデータベースを作成する。

4. 臨床試験審査委員会

新規臨床研究について審議予定である。

5. 倫理委員会

新規臨床研究について審議予定である。

6. 臨床研究開発・推進委員会

第4回臨床研究開発・推進委員会（メール審議）を開催予定である。

7. 研究論文支援委員会

JFMC7/15/33大腸癌統合解析に関して学会発表を行う。（第118回 日本外科学会定期学術集会 2018/4 東京）

JFMC7/15/33大腸癌統合解析に関して英文論文を作成する。

8. 医療機器委員会

第5回医療機器委員会を開催予定である。

9. 利益相反委員会

新規臨床研究について審議予定である。

10. 臨床試験管理委員会

第2回臨床試験管理委員会を開催予定である。

11. 講演会及び講習会等事業

平成29年度に日本生活習慣病予防協会と共催で市民公開講座（平成30年2月7日）を開催したが、平成30年度も同様にがん治療と予防について講演会や市民公開講座等を開催する予定である。

12. 諸事業

がん集学財団ニュース No. 43を刊行予定である。

財団諸事業については、当財団ホームページで適宜情報を発信する。